

行事案内

★名護わかば園 秋まつり

令和元年10月26日(土)16:00~18:00

★里・郷・睦 キッズライブラリー 合同秋まつり

令和元年11月3日(日)16:00~18:00



編集後記

本年5月1日より新元号「令和」がスタートしました。
新しい時代が始まり約半年となりますが、皆様はいかがお過ごしでしょうか？
沖縄の日中は30度を超える日も続いておりますが、朝晩は少し涼しく感じられる日もありだんだんと秋の気配を感じます。

さて、この度のNagoMirai第32号は、平成30年度 決算報告をはじめ
新採用職員の紹介新規事業所紹介、利用者様の表彰等について掲載致しました。

新しい時代を歩む名護学院を今後とも宜しくお願いいたします。

名護学院 広報誌委員会 (本部エリア)

NagoMiraiに込められた意味

「名護未来」とは、人と人がつくる温もりと
利用者様の未来に寄り添うという意味が込められています。
「NagoMirai」のaとiを(愛)繋ぐことで「慈愛の礎」を
表現しています。

これからも元気に
頑張りたいです。



今年100歳を迎えた
きんじょう ふみお
金城 文雄さん



88歳を迎えた
安谷屋光子さん

88歳を迎えた
我部ヨシ子さん

88歳を迎えた
仲宗根ユキさん

100歳を迎えた
金城文雄さん

88歳を迎えた
宮城松枝さん

88歳を迎えた
本部マツエさん

88歳を迎えた
知花恵美さん

目指す地域文化

やんばる地域では、家々に小規模菜園（アタイグワー）が営まれているが、休耕地が増え今や伝統的な文化が消えつつある。かつて、身近な土壌から食を支える大事な営みであり、近隣相互に成果物を共有、加えて労働力の共有も自然なできごとであった。まさに、人々が自助を基本にした共助のしくみをつくり地域共生の文化を形成していた。

私たちが目指すべき地域福祉の原風景であり、土壌へのはたらきかけを通して人々がつながる基盤を失ってはならない大切な文化ではなからうか。この時代を生きて、その文化に触れ培われてきた知識、スキルや知恵こそ、今さらながら学ぶべき要素としての存在に気づかされている。多様な可能性をもち合わせたシニア人材は、子どもたちの未来にとって欠かせない存在である。子どもたちが主体的に学び、生きる力を育む環境、そして障害のある人の人材化を図るにしてもシルバー世代は大切な資源といえる。

私たちに、生産、製造・加工、販売まで6次産業化をめざせるベースラインがあるものの、それを活かすノウハウが不足している。一方、地域の6次化企業において農地不足、人材不足による生産物不足、生産ラインの機能しにくい課題を抱えている。時機を得た出会いが相互補完の話し合いに発展して、障害のある人やシニア世代の人材化の観点から新たに農・福・企業の連携がはじまった。

現在、シニア世帯の有するアタイグワーの活用が始まり、野菜生産、栽培管理、収穫作業までの過程における援農を障害のある人が担っている。農家、企業、私たちとの共助のしくみを「アタイハートネット」と称して、絆を深めながら生産拡大を図っている。アタイハートネットは心通う人々が集い、新たな地域文化の創造をめざしている。

目指すは、ライフステージにあるそれぞれの世代が人材として求められ、活躍可能な地域環境の創造であり、自助を基本とする共助のある地域文化づくりである。

理事長 崎濱 秀政

第52回沖縄県知的障がい者表彰式

饒平名ブロック工場（現スマイル）

前原 信一さん

平成31年3月9日に、第52回沖縄県知的障がい者教育・福祉・就労研究大会（沖縄県総合福祉センターゆいほーる）で、平成3年5月に沖縄で2番目のグループホームとして、本部海陽園から饒平名ブロック工場（現スマイル）に就職し、長年の継続勤務を称え、表彰を受けました。スマイルでの充実した勤務と、出勤の合間の休日には釣りや観賞用の魚に毎日の餌やりなど余暇を楽しみ、日々の積み重ねが今回の受賞となりました。前原信一さんは性格も人との接し方も柔らかく優しい方です。ホームでも、みんなから「信ちゃん」と呼ばれ、笑顔が絶えない雰囲気をよく見かけます。彼のこの性格なら本部エリアの、どのホームでも愛され、自然と彼を応援してくれると思います。今後も永年勤続が伸びていくのが目に浮かびます。



福祉型児童発達支援センター『パステル』開設

令和元年7月1日より、沖縄県の指定を受け、福祉型児童発達支援センターパステルがスタートしました。パステルの持つ機能として、

- (1) 児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業（主として重症心身障がい児対象）
- (2) 障がい児相談支援
- (3) 保育所等訪問支援事業
- (4) 家族支援・地域支援

の機能を担っています。対象とする児童は、0歳から18歳までの障がいのあるお子さんで、発達に関してのご相談など、専門スタッフがチームとなり、お子さんの成長を将来にわたって、その持てる力を十分に発揮して生活出来るように、切れ目なくサポートします。医療的ケアや機能訓練を必要とする児童についても、相談を受け付けています。

令和元年10月以降、名護市大東にあるクリニック和陸の2階に移転する予定となっており、見学など随時受け付けていますのでお気軽にご相談下さい。

施設情報 沖縄県名護市字大東一丁目15-6
TEL.0980-43-5953 FAX.0980-43-5954



生活介護支援事業所『あゆむ』開所

令和元年7月より本部町字並里地区にて生活介護事業を行っております。本部エリアの利用者様のニーズにお応えできるよう日々奮闘しております。あゆむでは、シルバー支援員さん（オジィー達）3名の温かく・熱いチムググル（心）と若いスタッフの優しいハート（心）で利用者様の支援を行っております。活動内容としては、地域のアタイグワー（家庭菜園）と協力しパパイヤと島唐辛子の植え付けから収穫、提携業者への納品を行っております。また、伊野波区にてウコンの加工作業にも関わらせていただいております。今後も、地域や企業の皆様と連携し利用者様の生活を支援していきたいと思っております。

施設情報 沖縄県国頭郡本部町字並里635-3番地
TEL.0980-43-5485（FAX兼用）

地域生活支援センター『みらい』開所

令和元年6月1日より、社会福祉法人名護学院 特定相談支援事業所、障害児相談支援事業所「地域生活支援センターみらい」を開設致しました。

当法人の基本理念である、【利用者の「尊厳の保持（権利擁護）」を基本として、一人ひとりに合った「自立生活による社会参加の実現」を応援する仕組みづくり（社会資源の開発）と「生きやすさのある社会づくり」への貢献を先駆的、開拓的で独自性のある実践をします。】を基に、住み慣れた地域でその人らしく安心して暮らせるように、スタッフ一同一つ一つ丁寧に取り組んでまいりますので、今後とも宜しくお願致します。

施設情報 沖縄県国頭郡本部町字大浜878-16
TEL.0980-43-0568 FAX.0980-51-6161

ライフサポート縁 新ホーム完成

平成30年8月より運営を開始しておりました新たなグループホームが、建築検査も無事通り、4月1日から新ホームとしてスタートしました。2階建ての建物で、1階のホームの名称は「すみれホーム」、介護など24時間支援を必要とされる方が入居しており、定員6名のホームとなっております。2階は「ふくぎホーム」という名称で、渡久地の保育所付近にあった「ふくぎホーム」が移転した形となっております。

また、ふくぎホームは通常のグループホームと短期入所施設とに分けて運用されており、グループホームの定員が4名、短期入所施設の定員が2名となっております。5月4日には、ライフサポート縁に所属している利用者方にお披露目BBQ会も行いました。ふくぎホームに入居しているS.Mさんは、「ここから、いつも島(故郷の伊江島)が見える、俺の家はたちゅーの麓と港の間にあるんだ」と島を指さしながら故郷の話題で会話が弾みました。



クリニック和睦 移転のお知らせ

移転先 沖縄県名護市字大東1丁目15-6
TEL.0980-43-0418 FAX.0980-43-0417

クリニック和睦は、2019年8月5日(月)名護市字名護より字大東の旧なごみ医院跡へ移転となりました。今までクリニック和睦で行っていた内科的疾患の治療となごみ医院で行われていた心療内科的な治療も行いながら新たに外傷診療を始めました。



令和元年度クリニック和睦 診療体制

診療時間・受付時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:30 《受付8:30~12:00》	内科・外科 心療内科 皮膚科	内科・外科 心療内科	内科・外科 心療内科	内科・外科 心療内科 皮膚科	内科・外科 心療内科	心療内科
午後 13:30~17:30 《受付13:30~17:00》	内科・外科 心療内科 皮膚科	内科・外科 心療内科 皮膚科	内科・外科 心療内科	内科・外科 心療内科	内科・外科 心療内科	休 診

※水曜日の心療内科は完全予約制となります。

今まで同様、他医療機関との連携を図りながら特定健診をはじめとする予防医療と外傷治療も行う事で地域の皆様の健康をお守りする一助になればとスタッフ一同切に希望しております。今後とも当クリニックを宜しくお願い申し上げます。

クリニック和睦 院長 新垣 義人



二見の里 共生型サービス(生活介護)を開始

共生型通所介護サービスとは

平成30年度の介護保険法・障害者総合支援法の改正で、障害者総合支援法の生活介護事業所にて介護保険の通所介護、逆に介護保険の通所介護事業所にて障害者総合支援法の生活介護や自立訓練(機能訓練・生活訓練)、児童発達支援、放課後等デイサービスのサービスが提供できるようになりました。

二見の里は、介護保険法に基づく主に高齢者の方々を対象としたデイサービスです。

令和元年8月1日~共生型サービスを開始しました。

二見の里通所介護事業所における共生型サービスの意義と特徴について

- (1) 主に50歳以上の生活介護対象の方々が早期から通所介護との共生型サービスを利用することにより介護保険への移行をスムーズに行うことができる。
- (2) パワーリハビリテーションの器具が揃っており、本格的なパワーリハビリを提供することができる。
- (3) 作業療法士や看護師を中心にリハビリテーションを提供することができる。
- (4) 栄養士が栄養バランスの取れた食事、季節や行事に合った食事、糖尿病や高血圧、透析治療中の方々に合わせた治療食を献立、事業所内で調理することで、ご利用者個々人に合わせた食事の提供ができる。
- (5) 世代間交流ができる。
- (6) 名護市東海岸地域で障害者総合支援法の生活介護に相当するサービスが利用できる。

利用可能な方

- (1) 障害支援区分が区分3(障害者支援施設等)に入所する場合は区分4)以上の方
- (2) 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2(障害者支援施設等)に入所する場合は区分3)以上の方
*介護保険への移行がスムーズにでき、親子や兄弟などご家族一緒の利用が可能となります。

特徴

- (1) 多世代間のふれあい。
- (2) リハビリスタッフや器具が充実。
- (3) 看護師による健康チェック。
- (4) 栄養士によるバランスの取れた食事(季節行事に合わせたメニュー、事業所内で調理をすることで個人の状況に合わせた食事の提供)

【デイサービスセンター 二見の里】

〒905-2269 名護市二見241番地7
TEL.0980-55-8788
FAX.0980-55-8770
担当:金城



本部海陽園施設整備の状況

本部海陽園改築工事の着工準備から、今年度本格的に建築が始動しました。同一敷地内で行われる為、まずは、管理棟、厨房、食堂の解体に始まり、7月初旬に厨房、食堂、管理棟を仮設に移動し業務を行っています。

建築工事の五つの住まい（居住）のうち三つの基礎打ちも済み、建物が一部かたちとして見えてきました。（写真参照）ご利用者の皆様も、出来上がっていく状況を見ながら、自分の部屋のイメージを職員と共に楽しみに話し合いをしています。建設と並行して利用者の皆さんが安心、安全な暮らしが送れるよう編成の方も随時、進めています。

最後に、ご利用者様をはじめご家族の皆様、各関係者、地域の皆様には大変ご迷惑をおかけしておりますが事業のご理解を頂き感謝申し上げます。



さざなみカフェ

平成27年5月27日 さざなみお茶会を開始、さざなみカフェとして5年目を迎え、今回、名護市包括支援センターの協力で、さざなみつながるカフェ（認知症カフェ）として認定していただきました。

さざなみカフェの始まりは、ご利用者様が、認知症や病気・障害により、地域活動が困難になった方も、地域とつながるために、出向くだけでなく 地域の方に来ていただきたく、交流の機会を設けるために、始まりました。地域のミニデイと共同出張カフェで地域と交流、年に1回ではありますが、認知症サポーター養成講座を開催、今年度は利用者の作品展、折り紙教室やリサイクルフリーマーケットを開催して、足を運びやすい環境づくりをしております。去った8月2日には、名護市にある認知症カフェの1つで沖縄古民家カフェかめたろうや〜（名護市仲尾次）にてつながるカフェ交流会に参加し、ワンコイン500円でプチケーキ、ジー豆腐のぜんざいとコーヒーをいただきながらカフェ運営の意見交換を致しました。他の事業所の取り組みを聞いて参考にしていきたいと思います。さざなみカフェは、毎月第4木曜日14:30~16:30開催しています。

介護サービスにつながらない軽い認知症の方、認知症にならないかと心配している方、介護支援専門員の方、御家族の方、困ったときは相談ください。

厚生労働省「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられることができる社会」の実現をめざして、新オレンジプランの中に認知症カフェの設置がうたわれている。高齢化社会に伴い認知症の人の増加や家族介護の負担がますます深刻化する中で地域の中での居場所や認知症の理解を深める意味で認知症カフェの意義は大きい。県内外でも、オレンジカフェ、Dカフェとうたってコーヒーチェーンのスターバックスや本物のカフェでの認知症カフェが始まり、若者の認知症への理解が少しずつ広がっている。



介護福祉士実務者研修受講生の国家資格取得者について

平成30年度介護福祉士実務者研修受講生19名の内、18名が国家資格である介護福祉士資格試験を受験し、13名が合格して介護福祉士資格を取得致しました。



資格取得者の事業所内訳	
障害者支援施設 睦	1名
障害者支援施設 郷	1名
名護わかば園	3名
本部海陽園	2名
ライフサポート縁	2名
サ高住 あかがーら	1名
桃の樹	2名
さざなみ	1名
計	13名

サマースクール・サマーキャンプ

キッズファームに「うるま オス1歳」と「メープル オス1歳」が新たに仲間に加わりました。

かねてより子供たちから要望があったポニーの飼育が当法人、崎濱理事長による寄贈により実現しました。5月13日にはキッズパークにて贈呈式が行われ、子供たちも大喜びでした。現在、2頭は子供たちの癒しとして活躍しています。一般開放も行っておりますので、近くまでお越しの際は気軽にお立ち寄りください。



キッズライブラリーでは夏休み期間中、基礎学力の向上の他、コミュニケーション能力や、集団行動といった社会スキルを獲得する事を目的として、一般の生徒も受け入れ体験学習や学習支援等も行っています。4回目を迎えた今年も32名の登録があり、一日平均約16名程度の利用がありました。今年は学習支援の他に平和学習・海水浴・おきなわワールド・県立博物館等への社会見学も行いました。また最後の締めくくりとして伊江島でのサマーキャンプも実施し子供たちも楽しく学び、成長したことと思います。

第3回 スポーツ親睦会

平成31年3月2日(土)名護市真喜屋球場にて、第3回スポーツ親睦会が行われました。

当日は曇り空ではありましたが、雨も降ることなくソフトボールを楽しむことができました。

参加者は第2回よりも少なくなりましたが、全員がケガをすることなく終えることができました。閉会式では参加してくれた名護わかば園の子ども達へお菓子が配られ、とても喜んでいる表情が見えました。普段は各事業所ごとでしか関わりがない職員の方々も、スポーツ親睦会を通して他事業所の職員との交流を深める良い機会になりました。



2019年度 新採用職員研修

2019年度採用職員研修が、2019年4月12日と7月1日に、和会館にて行なわれました。サービス提供における役割と役割遂行、サポートの姿勢と態度等を学びました。広報誌のNagoMiraiに込められた利用者様の未来に寄り添えるよう、初心忘るべからず、頑張っていく決意であります。



尚、2019年度の採用試験受験者数は58人で、採用数は13名となっています。

2019年度 採用職員紹介



「郷」事務員 仲宗根 せつげ 麻里奈

経験が浅く、至らぬ点も多々ありますが、精進して参りますので宜しくお願い致します。



「名護わかば園」児童指導員 山川 藍

利用者様を笑顔にする支援を心がけながら、初心を忘れず頑張っていきたいです。



「キッズライブラリー」支援員 花城 美香子

初心の気持ちを忘れず、利用者様、職員が日々笑顔で過ごせる職場を目指していきたいです。



「ひびき」支援員 平良 愛

ご利用者の「働きたい」という想いの実現を目指して、ご利用者に寄り添った、ステップアップできる支援を行っていく所存です。



「名護わかば園」児童指導員 伊井 玲奈

多くの経験と知識を重ね、ご利用者様にとってより良いサポーターとなれるよう努めます。



「ひびき」支援員 岸本 まどか

思いやり、心くばりを大切に、笑顔でご利用者をサポートします!宜しくお願いします。



「桃の樹」支援員 具志堅 古大

ご利用者主体を念頭に、常に学ぶ姿勢と真心持って支援ができるように頑張ります。



「さざなみ」介護員 棚原 憲哉

まだまだ経験が少ないですが、先輩方のようにとどろき吸収していき、立派な介護士になれるよう頑張りたいと思います。



「ひびき」支援員 知念 翼

日ごろの訓練を通して、利用者様の「働く」という夢を実現できるように日々サポートしていく決意です。



「二見の里」介護支援専門員 日置 太夫

法人の持つ多彩なサービスや人材と連携しながら、地域の課題やニーズに取り組みたいと思います。



「二見の里」サービス管理責任者 名嘉 正樹

お一人おひとりの事をちゃんと理解して、いいケアを提供したいという一心で日々成長できるよう、懸命に取り組む頑張ります。



「名護わかば園」保育士 屋良 正人

初めての児童施設ですが、ご利用者様一人ひとりと真剣に向き合い、良い関係性の中で支援に努めたいと思います。



「ゆいとぴあ」支援員 宮坂 拓也

東京から本部町に移住してきて14年、料理人から転向して3年になります。未熟者ですが宜しくお願いします。

新役員紹介

理事就任あいさつ



理事
田中 さとみさん

この度、法人制度改革に伴い、現場代表、施設長として第23期社会福祉法人名護学院の理事を拝命いたしました、障害者支援施設本部海陽園施設長 田中さとみと申します。名護学院に入職し33年、事務職を経て、現場着任3年目となります。これからも、ご利用者・ご家族・地域の声に耳を傾けた運営を法人傘下、管理者、職員と共に努めてまいります。

今後とも、ご指導、ご鞭撻頂けますようよろしくお願い申し上げます。

監事就任あいさつ



監事
野原 健伸さん

令和元年6月から社会福祉法人名護学院第23期監事として就任しました野原です。今年3月に名護市役所を定年退職しまして、現在は公益社団法人名護市シルバー人材センター事務局長として勤務しております。思い返せば、平成元年度から名護市福祉事務所で名護学院の担当者として3年間勤務する機会を得ました。主に入所者の担当として、名護学院に訪問し瀬高の山頂近くから眺めた大浦湾の絶景や施設まつり、運動会など多くの出来事が、今でも鮮やかに脳裏に浮かんでまいります。

その後も名護市の障がい児・者福祉施策や高齢者福祉施策等で名護学院や二見の里など多くの施設・在宅サービスや崎濱理事長はじめ多くの皆様方のご理解、ご支援・ご協力のもとで、名護市の社会福祉施策等が大きく発展してきたのだと改めて認識し心から感謝する次第です。今回、名護学院に関わる機会を得まして、微力ながら「社会科学的・自然科学的な視野を持って物事を判断し具現化していく。」という理念を活かしながら、名護学院の利用者の皆様や職員の皆様、また、広義的には名護市、北部地域の福祉ニーズを把握し、関係機関等とも連携を図りながら社会福祉・地域福祉の向上に努め監事としての責務を果たして参りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

社会福祉法人名護学院役員名簿

フリガナ	氏名	役職名・呼称	フリガナ	氏名	役職名・呼称
サキハマ ヒデマサ	崎濱 秀政	理事長	ノハラ ケンノブ	野原 健伸	監事
ヒカ タツヤ	比嘉 達也	常務理事	ナカネ マサヒロ	仲宗根 政博	評議員
ヤマシロ ハジメ	山城 一	理事	トカシ シンゴ	渡嘉敷 真吾	評議員
ナカガネ ノボル	仲兼久 登	理事	キシト ヤスシ	岸本 安司	評議員
タイラ ヒデヨ	平良 英世	理事	タムラ ノブカズ	田村 信一	評議員
タカ サミ	田中 さとみ	理事	ミヤキ サチオ	宮城 幸夫	評議員
タイラ ミツオ	平 三男	監事	タカハ アイ	高江洲 愛子	評議員
			キスシ サツシ	宜寿次 聰	評議員

平成30年度 決算報告

貸借対照表			
借方		貸方	
流動資産	979,441,051	流動負債	388,010,855
固定資産	2,857,583,828	固定負債	767,521,918
基本財産	2,075,842,191	基本金	360,801,278
その他の固定資産	781,741,637	国庫補助等特別積立金	1,208,788,142
		その他の積立金	286,531,779
		次期繰越活動収支差額	825,370,907
計	3,837,024,879	計	3,837,024,879

資金収支計算書	
勘定科目	当年度決算
事業活動収入計(1)	2,389,354,424
事業活動支出計(2)	2,273,224,889
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	116,129,535
施設整備等収入計(4)	59,494,600
施設整備等支出計(5)	175,408,854
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-115,914,254
その他の活動収入計(7)	47,930,350
その他の活動支出計(8)	83,093,922
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-35,163,572
予備費支出(10)	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	-34,948,291
前期末支払資金残高(12)	753,541,533
当期末支払資金残高(11)+(12)	718,593,242

事業活動計算書	
勘定科目	当年度決算
サービス活動収益計(1)	2,369,395,783
サービス活動費用計(2)	2,377,622,930
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-8,227,147
サービス活動外収益計(4)	20,322,401
サービス活動外費用計(5)	10,742,922
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	9,579,479
経常増減差額(7)=(3)+(6)	1,352,332
特別収益計(8)	23,881,094
特別費用計(9)	23,600,107
特別増減差額(10)=(8)-(9)	280,987
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	1,633,319
前期繰越活動増減差額(12)	848,737,588
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	850,370,907
基本金取崩額(14)	0
その他の積立金取崩額(15)	15,000,000
その他の積立金積立額(16)	40,000,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	825,370,907

社会福祉法人名護学院 事業所一覧

平成31年4月1日現在の職員数 540名

事業所名	管理者	郵便番号	住所	TEL (0980)	FAX (0980)
名護学院 法人事務局	事務局長 伊波 貴世香	905-0005	名護市為又1015-1	52-2277	52-6644
キッズライブラリー(ショップ43-9270)	//	905-0005	名護市為又1015-1	43-9870	43-9870
障害者支援施設 睦	施設長 玉城 辰彦	905-0005	名護市為又1015-1	52-2080	52-2090
障害者支援施設 郷	施設長 島袋 公枝	905-0005	名護市為又1015-1	52-5577	52-7744
障害者支援施設 里	施設長 吉田 英也	905-0005	名護市為又1015-1	52-3377	52-3399
福祉型障害児入所施設 名護わかば園	施設長 玉城 須嘉子	905-0006	名護市宇茂佐232-1	43-0057	54-2505
生活介護事業 かふう	//	905-1145	名護市川上257-1	43-5133	43-5135
児童サポートセンター カラーズ	所長 伊良波 薫	905-0006	名護市宇茂佐232-1	53-5355	54-2505
児童発達支援センター パステル	センター長 屋部 一帆	905-0016	名護市大東1-15-6	43-5953	43-5954
障害者支援施設 本部海陽園	施設長 田中 さとみ	905-0213	本部町字谷茶268	47-2622	47-2664
ライフサポート 縁	所長 玉城 初枝	905-0212	本部町字大浜878-16	51-6160	51-6161
ライフサポート ひだまり	所長 友利 英之 所長 大城 エリカ	905-0011	名護市宇宮里1-3-18	43-5888	43-5885
生活介護支援事業 とらいあんぐる	所長 比嘉 晃	905-1155	名護市我部祖河1205-3	43-5951	43-5952
生活介護支援事業 あゆむ	所長 島袋 暁史	905-0222	本部町字並里635-3	43-5485	43-5485
生活介護支援事業 桃の樹	所長 玉城 美枝子	905-0009	名護市宇茂佐の森1-17-9	53-2961	53-2961
デイサービスセンター二見の里	施設長 玉城 ひとみ	905-2269	名護市宇二見241-7	55-8788	55-8770
生活支援ハウス 前ぬ浜	所長 小浜 克正	905-2266	名護市瀬嵩12-1	55-8400	51-9008
小規模多機能型居宅介護事業 さざなみ	所長 又吉 明美	905-2266	名護市瀬嵩12-2	55-8793	51-9008
在宅支援センター ゆいとびあ	所長 平良 満	905-0212	本部町字大浜885-1	47-5355	47-5444
ワークセンター もとぶ	所長 知念 秀吉	905-0212	本部町字大浜858-9	43-5107	43-5108
ワークサポート ひびき	所長 金城 直人	905-0012	名護市宇名護4558-1	53-3110	52-5630
グループホーム サンクバーナ	//	905-0602	伊是名村諸見154-1	45-2890	45-2891
ライフサポート郷里	所長 友利 英之	905-0012	名護市名護4558-48	43-9778	43-9779
サービス付き高齢者向け住宅 あかがーら	所長 當山 清博	905-0012	名護市名護4558-48	43-0747	43-0748
クリニック 和睦	事務長 當山 清博	905-0016	名護市大東1-15-6	43-0418	43-0417
地域生活支援センター みらい	所長 大城 道太	905-0212	本部町字大浜878-16	43-0568	51-6161
地域生活支援センター あかり	所長 宮里 多美子	905-0009	名護市宇茂佐の森1-17-9	53-6869	54-1672
障害者就業・生活支援センター ティーダ&チムチム	所長 中村 淳子	905-0009	名護市宇茂佐の森1-17-9	54-8181	54-3287